

いしかわ 県薬レポート

2017、7 No.77

編集発行
金沢市広岡町イ25-10
(石川県薬事センター内)
公益社団法人 石川県薬剤師会
会長 中森 慶滋

目次

- 会長就任挨拶
石川県薬剤師会
会長 中森 慶滋…… 2
- 第116回 臨時総会…… 3
- 第117回 定時総会…… 4
- 会長表彰…… 5
- 役員名簿（平成29、30年度 公益社団法人 石川県薬剤師会 役員名簿）…… 6
- 石川大会準備レポート
（大会開催趣旨）中森 慶滋…… 7
- 開局薬剤師部会の委員会と主な事業
綿谷 敏彦…… 10
- 中村正人氏 藍綬褒章受章を祝う会
柏原 宏暢…… 13
- 薬・薬連携について
森戸 敏志…… 14
- 県民啓発講座を開催して
三浦 智子…… 16
- シンポジウムに参加して
笹川 真澄…… 16
- しっかり服薬推進事業について
佐倉 有紀…… 18
- ホームページを有効活用しませんか
山崎 敏誉…… 20
- 第2回石川県スポーツファーマシスト連絡会
高山 成明…… 21
- G08認定薬剤師制度2回目の更新
吉藤 茂行…… 22
- 「大野名水ハーフマラソン」
中森 慶滋…… 24



三浦 智子 画



会長就任挨拶

公益社団法人 石川県薬剤師会

会長 中 森 慶 滋

6月11日の総会で会長に選出されました中森です。

激動の時代が現在薬剤師に押し寄せてきています。さらに2025年を前に医療の世界は大きく変貌を遂げようとしています。いま薬剤師に地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化と連携が期待されるとともに、かかりつけ薬剤師やかかりつけ薬局の機能が求められています。しかしこのままでは薬剤師は、取り巻くいろいろな状況に押しつぶされてしまうかもしれません。そんな危機感を強く感じています。そのためには何をすべきなのかしっかりと考えて実行に移していきたいと考えています。

ラグランジュ点と呼ばれるものが宇宙に存在しています。これは複数の天体のそれぞれの重力が釣り合っているポイントをさします。例えば地球と月のあいだにも重力が釣り合って安定しているエリアがあります。その場所は宇宙ステーションを建設する候補エリアとして選ばれます。

薬剤師を取り巻く環境には様々な勢力が存在しています。それら勢力から突きつけられている課題に対処しバランスを取りながら薬剤師会を運営していくことが求めら

れます。それはまるでラグランジュ点を探し出すかのような作業になるかもしれません。われわれが真摯に取り組むことができるとラグランジュ点を見つけられるものと信じています。

村上春樹は小説「羊をめぐる冒険」の中で次のように語っています。「人間には欲望とプライドの中間点のようなものが必ずある。全ての物体に重心があるようにね。」その言葉にあるように薬剤師の進む方向性そしてプライドつまり誇りと尊厳のバランスもとっていきたいと思います。

日本薬剤師会学術大会が石川の地で来年開催されます。運営にあたる石川県薬剤師会学術大会制作委員会では、まず薬剤師の業務の現在を作り上げた先人たちが歩んできた道に敬意を示すことが必要であると考えました。そうしたうえで我々の未来を垣間見たいと企画を練っています。それはまるで金沢の街が伝統でおおわれている中に金沢21世紀美術館の現代性が輝いているかのような金沢の街そのものを表現しているともいえるでしょう。

若かりし頃僕はリュックを背負いバックパッカーとなりエジプト、イスラエル、トルコ、そしてインドから東南アジアを放浪

し、やがてバリ島にまでたどり着きました。山の中にある村ウブドでのこと。ある朝500円程度で泊まれる安宿のスタッフが僕のコテージまでやってきてCremationが始まるので見に行こうと誘いに来ました。Cremationの意味が分からずに彼についていくと、しばらくして隊列がやってきました。頭に多くの果物を乗せた女性、南国の豊かな数々の花々。それらに見とれているうちに張りぼてで作られた牛が運ばれてきました。牛は丘の上に運ばれ安置され火がつけられました。見る見るうちに巨大な火炎に包まれた牛の中から死体が出てきました。それを多くの人たちが楽しそうに眺めていました。Cremationとは火葬を意味するのだと後で知りました。ネットで「Cremation バリ」を画像で検索するとその様子が分かります。

インドネシアで唯一ヒンドゥ教を信仰するバリの人たちは「輪廻転生」の教えに基づき、死は新たな人生の門出として楽しくお祝いするのだと知りました。死体が焼け焦げていくのを見た時から、僕の死生観は変わりました。生をしっかりと生きること死は怖くないのではと考えるようになったのです。学術大会制作委員会では演目のカテゴリーを「生」「老」「病」「死」の四つに分けそれぞれを肯定的にとらえ薬剤師の業務の中で気づきを与えようと考えました。きっと日本薬剤師会学術大会石川では薬剤師の心の中に何かこれまでにない新しい炎を灯すことになるものと思います。制作委員会はそれが最大の使命だと考えているからです。

どうぞよろしく願いいたします。

第 116 回 臨時総会

第116回臨時総会が平成29年3月26日(日)午前10時から石川県地場産業振興センターにおいて、本人の出席42名、委任状等による出席424名、合計466名の参加を得て開催された。永江典之議長、宮河哲夫副議長が登壇され、まず報告事項として、平成28年度会務並びに事業中間報告、そして第88回日本薬剤師会臨時総会の報告がなされた。次いで議事として、平成29年度事業計

画案・収入支出予算案・会費額と賦課徴収案、そして借入限度額について説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。また、選挙規則により会長候補者として、中森慶滋副会長が決定された。



第117回 定時総会

第117回定時総会が平成29年6月11日(日)午後2時30分からホテル日航金沢において、本人出席74名、委任状等による出席436名、合計510名の参加を得て開催された。冒頭、平成28年度にご逝去された会員へのご冥福を祈り黙祷を捧げた。開会に当たり中村会長は次のとおりに挨拶された。「全国的に今、良いニュースは無く、ハーボニー偽薬事件や秋田で起きた不正請求事件等どれもこれも医薬分業の根底を覆すような重大事件であり、医療人は経営を優先してはならないというのが鉄則であろうかと思えます。それから敷地内薬局問題があります、患者にとって本当の利便性は何かということであり、真の患者ファーストを浮き彫りにしていく必要があろうかと思えます。来年の日本薬剤師会学術大会(金沢)が成功できますように、内外ともにご協力をお願いいたします。」と述べられ、「今日の総会で会長職を離れますが、長い間、ご指導、ご協力、ご支援を頂きまして

心から厚く厚くお礼を申しあげます。」との言葉で締めくくった。次に来賓の谷本正憲石川県知事、山田修路参議院議員、宮本周司参議院議員から祝辞をいただき、その後、来賓紹介、祝電披露がされた後、永江典之議長、宮河哲夫副議長が登壇し、議事に入った。

まず報告事項として、平成28年度会務並びに事業報告、平成28年度補正予算報告が一括してなされ、賛成多数で承認された。次いで議事として、平成28年度計算書類等承認、平成29年度資金調達及び設備投資の見込み、公益社団法人石川県薬剤師会会員規定の一部改正に関する件が説明され、賛成多数により可決された。更に本年度はこれまでの役員の任期満了にあたり、公益社団法人石川県薬剤師会の選挙規則等に基づいて選挙と承認が行われ、新しい理事、監事、総会議長・副議長が決定された(別紙)。以上をもって、第117回定時総会を終了した。



恒例の懇親会は、総会後に開かれた第一回理事会で正式決定された中森慶滋新会長の挨拶で始まった。ついで、平成28年度に瑞宝双光章、藍綬褒章、厚生労働大臣表彰、日薬有功賞を受けた会員の顕彰があり、受賞者に花束等が贈られた。また、本日をもって交代される永江典之前総会議長、池田正行前監事、中村正人前会長に記念品が贈呈された。その後、来賓の北村茂

男衆議院議員、米澤健司石川県議会議長、山本陽一石川県健康福祉部長、紐野義昭石川県議会議員から祝辞を頂いた。また来賓紹介、祝電披露がされた。懇親会は盛大に行われ、出席者は初対面挨拶や情報交換などを通して親睦を深め、有意義なひと時を過ごした。そして牛村章石川県歯科医師会副会長の音頭で、万歳三唱が行われ終了した。

会 長 表 彰

総会に先立ち、総会会場にて永年にわたり石川県薬剤師会の会務及び事業の運営に尽力された8名の方々に会長から表彰状と

記念品が贈られ、その功績が称えられた。受賞者を代表して吉藤茂行氏よりお礼の挨拶と今後の決意が述べられた。

平成29年度 石川県薬剤師会会長表彰受賞者

加 賀 支 部	中 道 健 志
白山のいち支部	吉 田 誠
金 沢 支 部	川 尻 義 典
七尾鹿島支部	中 島 登

開局薬剤師部会	綿 谷 敏 彦
病院薬剤師部会	谷 口 みのり
病院薬剤師部会	竹 田 元
一 般	吉 藤 茂 行



平成29, 30年度 公益社団法人 石川県薬剤師会 役員名簿			
役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	中 森 慶 滋	理 事	佐 倉 有 紀
副 会 長	吉 藤 茂 行	※ 理 事	中 村 安 博
副 会 長	柏 原 宏 暢	理 事	高 田 泉
副 会 長	三 浦 智 子	理 事	中 島 登
副 会 長	崔 吉 道	理 事	竹 端 裕
副 会 長	橋 本 昌 子	外 部 監 事	池 水 龍 一
専 務 理 事	澤 野 和 彦	内 部 監 事	森 正 昭
常 務 理 事	村 田 世 里 子	※ 内 部 監 事	西 尾 浩 次
※ 常 務 理 事	松 田 泰 美		
常 務 理 事	西 上 潤	顧 問	能 村 明 文
常 務 理 事	地 野 幹 子	※ 顧 問	中 村 正 人
常 務 理 事	直 田 弥 丈	顧 問	國 嶋 崇 隆
※ 常 務 理 事	綿 谷 敏 彦	顧 問	小 倉 勤
※ 常 務 理 事	乙 田 雅 章	参 与	院 瀬 見 義 弘
理 事	北 嶋 浩 成	参 与	田 中 千 隼
理 事	山 崎 敏 誉	参 与	綿 谷 小 作
※ 理 事	高 山 成 明	参 与	向 孝 次
理 事	森 戸 敏 志	参 与	上 田 和 雄
理 事	石 浦 祐 喜 子	参 与	西 尾 浩 次
※ 理 事	崎 田 敏 晴	※ 参 与	兼 田 春 生
理 事	金 田 孝 子	※ 参 与	永 江 典 之
※ 理 事	小 林 由 明	議 長	宮 河 哲 夫
※ 理 事	高 林 大 輔	※ 副 議 長	上 田 和 雄
理 事	今 庄 恵 子	日 薬 代 議 員	中 森 慶 滋

※ 新規役員

テーマ「人として、薬剤師として」

第51回日本薬剤師会学術大会（金沢）開催趣旨

日本薬剤師会学術大会（金沢）実行委員長 中 森 慶 滋

「多元主義」

パラダイム（知の枠組み）という概念を提唱したトマス・クーンは彼の思想の中で「多元主義」という言葉で世界を次のように表現している。「真理というものは、ただ一つしかないのではなく、ある枠組みの中で初めて定義されるので、枠組みが異なれば真実も複数あるかもしれない。」

またニューヨーク大学の物理学者アラン・ソーカルも「社会構成主義」という考え方を支持している。これはすべての社会にリアルなど存在しないという考え方のパラダイムによってすべての概念の意味が構築されているという「多元主義」に影響を受けている。科学以外に自然現象を合理的に説明できる体系が存在することはない。しかし今の科学は体系として認められていることを前提にしているため科学で見落とししているものも存在するかもしれない。それは別の枠組みの中で考えると説明できるものが確実に存在するからだ。

こうした問題を包含する考えとして「トランス・サイエンス」という概念がある。アメリカの物理学者A・ワインバーグは、1972年の論文で、科学技術のもたらす問題の中には、もはや科学だけでは解決できないものがあり、この問題の解決には、科学

を超えた次元での議論が必要であることを提言した。「科学に問うことはできるが、科学だけでは答えることができない問題群」をトランス・サイエンス（科学を超えた問題）の領域と呼び、この領域では科学者はより慎重な発言が求められるとしている。彼はトランス・サイエンスの事例として低レベル放射線障害の生物学的影響等を挙げ、その不確実性の高さや生物学的実験の限界（95%の信頼性がある実験を行うには80億匹のマウスを必要とする事例など）に触れ、科学だけでは答えを出すことが不可能であることを述べている。さらにDNA組み換えにおける生命倫理問題を解決するためには科学や技術の知見だけでは万全ではないことを認めたとうえで我々は新たな世界像を模索する必要があるという。現代社会において科学は何らかの解決策を与えてくれることは信じることはできる。しかし科学だけで問題が解決すると無批判的に信じることは危険である。つまり科学的世界像は世界の真の姿ではなく科学描写はあくまでも世界記述の一つでしかなくことを彼は表現したかったのだろう。

現代において科学万能主義に対するオルタナティブ（対案）を見つける必要性が生じている。その答えの一つとしてあるのは

Ethics（倫理）である。人が何をすべきか、すべきでないかの線引きは科学ではできないからだ。薬剤師に科学者であるとともに「人として」どのようなふるまいをすべきか考えることを時代は要請している。

「ポスト・ヒューマン」（テクノロジーによる人の進化）

1965年にインテルの創始者ゴードン・ムーアの法則では集積回路に搭載できるコンポーネントの数は毎年倍増すると指摘した。その後その期間は2年と修正されたもののこのムーアの法則は自己実現型予言として電子テクノロジーの進歩のペースを規定してきた。

それと同じようにバイオテクノロジーの世界でもDNAシーケンシングの生産性は指数関数的に向上している。さらにあたらしいテクノロジーや診断方法など我々をとりまく環境も大きく飛躍をしようとしている。

これまで医療の世界では新たなテクノロジーを採用するのに時間がかかった。しかし変化は加速している。医療ビッグデータが疫学領域で革命を起こすだろうし、Artificial Intelligence（AI）は人間を拡張するとともにさらに代替するシステムとして現実的に機能しだしている。近い将来、AIは医師にかわり診断を行い画像を判断し最適な治療優先順位を医師に指示するようになるだろう。この時間われるのは「人間であるということとは何を意味しているのだろうか」ということだ。

Crisper/Cas9を用いたヒト遺伝子編集方法は文書作成ソフトの「検索」と「置換」の機能を遺伝子で行うことができる技術だ。従来よりもはるかに正確に特定の遺伝配列を見つけ出し、編集することができる。さらに低コストでできるようになるゲノム解読など遺伝子の多くの分野で破壊的变化が起こるだろう。

また特定の分子や細胞を狙い撃ちする標的療法が医薬品開発の主流になる。また再生医療やIoTなどさまざまな分野から収集されるデータを集約・統合し再利用するデータアグリゲーションを軸として全く新しいサブカテゴリーが台頭するかもしれない。

ルチアーノ・フロリディーは次のように簡潔に表現している「農業革命の影響が完全に社会に及ぶまでには1000年、産業革命の場合は数百年かかったが、デジタル革命はわずか数十年である。われわれが不意打ちを食らって混乱しているのも無理はない。」そのわずかな時間に薬剤師は大きくシフトしなければならない。

イスラエルの歴史家ユヴァル・ノア・ハラリは「われわれはおそらく最後のホモ・サピエンスであり、あと100年ないし200年しないうちに、われわれは自らを滅ぼすか、あるいはテクノロジーを使ってポスト・ヒューマンに発展していこう。」と語っている。過去40億年、生物は「自然選択」によって進化してきて、生命は有機的（オーガニック）な存在にとどまっていた、しかし人類が自らをデザインすること

が可能となった今、インテリジェント・デザインによって進化していくヒトが存在するようになるだろう。そのことでヒトはホモ・サピエンスとポスト・ヒューマンとに分かれていく。そうなった時薬剤師はポスト・ヒューマンとして社会に認識されるようになるだろう。

「人として」

日本薬剤師会がまとめた「薬剤師の将来ビジョン」では、薬局における調剤業務は第五世代へと移りわかってきていることが示された。第五世代の新たな業務内容として「モニタリング」「他職種連携」「コンサルテーション」が追加された。第一世代では単純な「調剤」と「用法指示」のみであったものが今や複雑な業務へと進化を遂げたことになる。これは薬剤師の人間性への期待であることと読み取ることができるだろう。

実務実習の医療現場でカリキュラムをこなす多くの学生は戸惑いを覚える。知識だけでは学生は何もできない。患者は学生とコミュニケーションを取ろうとしないからだ。学生に必要なのはリベラルアーツ（人を自由にする学問）なのであろうか、それともアブラハム・マズローの自己実現論で読み解けるのであろうか。

アルバート・メラビアンは人の行動が他人に与える影響を言語情報が7%、口調などの聴覚情報が38%、見た目などの視覚情報が55%とした。薬剤師は生涯学習などの研修会で知識を得ることはできる。しかし

患者情報を聴取するコミュニケーション能力の本質的構造はアート（技術）であることを理解する必要がある。これまで「人として」の93%の領域は現場の経験によって獲得されるものだと考えられてきた。しかし現場の経験のみが重要ではないことも我々はわかっている。学術大会でその意識を薬剤師にもたらそうと思う。それはアートつまり技術であり芸術であり、そして自然科学である。

「生・老・病・死」

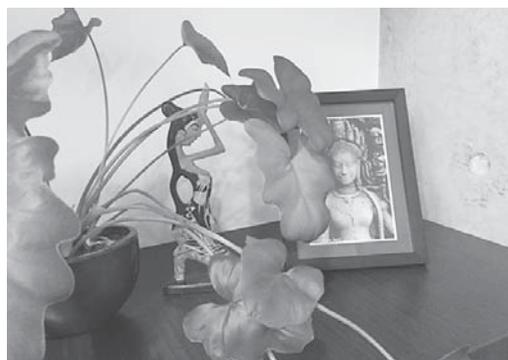
苦しみがあるから喜びがある。いや苦しみがなければ喜びは存在しないといえる。「苦」とは自分の思い通りにならないこと、仏教の本質的な考え方である。われわれは四つの苦しみを絶えず乗り越えるために生きている。「生きる苦しみ」「老いる苦しみ」「病む苦しみ」「死の苦しみ」薬剤師を取り巻く様々なテーマ、課題、取り組みを生・老・病・死にあてはめた。しかしそれは苦しみを問うのではなく喜びを生み出す源泉として存在していることを示したい。学術大会ではこの四つの苦しみを肯定的にとらえることでわれわれ薬剤師の将来を覗き見ることができるかもしれない。思い通りにならないことがあるから人生は豊かなのだ。これはほんのちよっただけ視点と枠組みを変えるだけで見えてくる。おそらく日本薬剤師会金沢大会はあなたに「気づき」を与えるであろう。われわれは日本薬剤師会学術大会のテーマを「人として、薬剤師として」とした。この言葉の意味を

「多元主義」的に考えてみたい。

参 考

- ・ Wired, 07.01
- ・ Megatech: Technology in 2050, 英『エコノミスト』誌は予測する
- ・ Machines of Loving Grace, John Markoff
- ・ 人類の未来-AI, Noam Chomsky, Ray Kurzweil (吉成真由美インタビュー)
- ・ <http://www.senkoji.jp/juusyoku/houwa/syouroubyou.html>

- ・ 第51回日本薬剤師会学術大会（金沢）
テーマ 趣旨書
石川県薬剤師会 日本薬剤師会学術大会
（金沢）制作委員会



開局薬剤師部会の委員会と主な事業

開局薬剤師部会長 綿 谷 敏 彦

今年度の開局薬剤師部会では、以下の委員会を中心に事業を行う予定です。会員のみなさまのご協力のほど、何とぞよろしくお願いたします。

- ①患者のための薬局ビジョン推進事業委員会：『患者のための薬局ビジョン推進事業』
- ②保険業務委員会：『保険（医療・介護）業務向上施策の推進』
- ③在宅医療連携システム推進事業委員会：『在宅医療連携システム推進事業』
- ④かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業委員会：『かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業』
- ⑤健康サポート薬局推進事業委員会：『健康サポート薬局推進事業』
- ⑥ICT委員会：『ICT事業』、『「薬剤師資格証」への対応』
- ⑦しっかり服薬事業委員会：『しっかり服薬推進事業』
- ⑧健康情報拠点事業委員会：『健康情報拠点事業』
- ⑨スポーツファーマシスト・薬育推進委員会：『スポーツファーマシスト・薬育推進事業』
- ⑩医薬品安全管理委員会（e薬.com含む）：『医薬品流通管理事業の推進』、『DEM事業』
- ⑪医薬品品質管理事業委員会：『医薬品品質管理事業の推進』
- ⑫子どもの健康支援薬局事業委員会：『子どもの健康支援薬局推進事業』
- ⑬高度管理医療機器等販売等に係る継続研

修事業委員会：『高度管理医療機器等販売業等に係る継続研修事業の推進』

- ⑭薬剤師の認知症対応力向上研修事業委員会：『薬剤師の認知症対応力向上研修事業』

それぞれの委員会について今年度の予定を下に示します。

①患者のための薬局ビジョン推進事業委員会

- ・「患者のための薬局ビジョン」推進に向けて各薬局が実施できるようなサポートを行う。
- ・石川県かかりつけ薬局推進会議 平成29年8月18日(金)ホテル金沢
- ・支部別かかりつけ薬局推進会議 平成29年10月頃

委員会名称について

昨年までは「医薬分業・面分業対策本部委員会」であったが、今年より「患者のための薬局ビジョン推進事業委員会」に改名した。これは、厚生労働省がかかりつけ薬剤師・薬局機能を明確化し、将来に向けた薬局再編の姿を示す「患者のための薬局ビジョン」を平成27年10月に策定したことによる。

②保険業務委員会

- ・平成30年度医療・介護保険の同時改定についての研修会を開催
- ・平成30年3月～5月の間に全会員向けの保険業務研修会を2回以上開催予定
- ・5月以降に支部保険・介護担当委員による伝達講習

③在宅医療連携システム推進事業委員会

- ・平成30年度医療・介護保険の同時改定に

ついでに研修会を開催

- ・平成30年3月～5月の間に全会員向けの保険業務研修会を2回以上開催予定
- ・5月以降に支部保険並びに介護担当委員による伝達講習

④かかりつけ薬剤師・薬局機能促進事業委員会

- ・セルフメディケーション支援するため、薬剤師の知識・スキルの向上を図る。
- ・平成29年4月～平成30年3月の間に、サブプリメント研修会を2回開催する。
- ・地域包括ケアシステムの中で果たす薬局の役割としての健康サポート機能（トリアージを含む相談対応、備蓄、その他）とかかりつけ薬剤師機能（24時間対応、服薬の一元管理、在宅、その他）の中で、対応困難と考えられる機能を補完するために、薬剤師会として支援できる事項について考察する。

⑤健康サポート薬局推進事業委員会

- ・健康サポート薬局に係る研修の運営
日時：8月6日(日)9時～17時
場所：石川県産業地場産業センター
「健康サポートのための多職種連携研修会」(研修会A)
「健康サポートのための薬剤師対応研修会」(研修会B)
- ・健康サポート薬局に対するサポート
- ・健康サポート薬局届出の支援
- ・健康サポート薬局のあり方などの検討
- ・健康サポート薬局の石川県民に対する啓蒙など
- ・健康サポート薬局が行う地域活動などの紹介

⑥ ICT委員会

- ・それぞれの電子お薬手帳の特色をまとめ、会員に情報提供するとともに普及支援を行う。
- ・薬剤師資格証についての全国会議（9月開催）に出席し、普及に向けた計画を会員へ周知する。
- ・「電子処方せんの運用ガイドライン（平成28年3月31日）」の読み込みを行う。
- ・在宅医療連携システム推進事業委員会と連携しての「いしかわ診療情報共有ネットワーク」への参画を推進する。
- ・各事業や各部会、委員会等の実施報告を県薬ホームページ上に掲載し、会員への周知を行う。

⑦ しっかり服薬推進事業委員会

- ・平成29年4月～平成30年3月の間に、介護職員との合同勉強会を開催する。
- ・しっかり服薬支援シートの活用法の検討、事例集など
- ・残薬の実態の調査

⑧ 健康情報拠点事業委員会

- ・平成29年度患者のための薬局ビジョン推進事業を実施する。
- ・事業名は「かかりつけ薬剤師・薬局推進事業～栄養士と連携した健康サポート機能の推進～」とする。（事業区分は、薬局・薬剤師によるアウトリーチ型健康支援推進事業）
- ・栄養士との合同研修会：12月10日（日）に開催

⑨ スポーツファーマシスト・薬育推進事業委員会

- ・平成29年度アンチドーピング相談に対応

するための知識向上推進事業を実施する。

- ・事業名は「スポーツファーマシスト・薬育推進事業」とする。

⑩ 医薬品安全管理委員会（e薬.com含む）

- ・医薬品流通管理事業の推進
- ・e薬.comの運営及び会員への参加要請、クラウドを利用したシステムの改良など
- ・DEM事業

⑪ 医薬品品質管理事業委員会

今年度の予定

- ・医薬品品質管理事業の推進

⑫ 子どもの健康支援薬局事業委員会

- ・ママさん達への「こどもの日々のケア」についての講演会を開催予定
- ・テーマ案は『アレルギーを予防する日々のスキンケア』・『見逃せないこどもの発熱』など
- ・今年度は少人数（50人以下）開催（予約制）で、DRのお話を40分ほど、薬剤師より20分ほどのミニ講座的なものを検討中

⑬ 高度管理医療機器等販売等に係る継続研修事業委員会

- ・高度管理医療機器等販売等に係る継続研修会の実施
平成29年12月2日（土）、12月9日（土）
ITビジネスプラザ武蔵（金沢市）にて研修会開催予定

⑭ 薬剤師の認知症対応力向上研修事業委員会

- ・薬剤師の認知症対応力向上研修会の実施
平成29年12月頃と平成30年3月頃を目安に開催予定

中村正人氏 藍綬褒章受章を祝う会

石川県薬剤師会 柏原宏暢

平成29年4月23日、石川県薬剤師会会長である中村正人氏の藍綬褒章受章を祝う会がホテル日航金沢にて、112名の出席者のもと盛大に行われました。受章の発表は、平成28年11月3日、受章式は同11月15日皇居において行われ、天皇陛下のご拝謁を賜ったと伺いました。

本受章は、薬事功労に基づくものであります。中村会長は、昭和51年に東京理科大学薬学部を卒業後、中村漢方院に勤務され、昭和52年に現在にまで繋がる中村漢方薬局を開局され、昭和54年に石川県薬剤師会開局薬剤師部会常任幹事を引き受けられて以来、平成9年石川県薬剤師会理事、平成12年石川県薬剤師会常任理事、平成22年石川県薬剤師会副会長、平成27年には石川



県薬剤師会会長に就任され、その経歴を通して石川県薬剤師会の発展に寄与さ

れてきました。その間には、本県の医薬分業の進展に深く関わり、学校保健における薬剤師業務の責務を果たされ、また、金沢大学医薬保健学域薬学類の臨床准教授として臨床薬学の講義を担当し、薬局では地域住民の健康を漢方によりサポートしておられます。

さて、祝う会ではご夫婦で入場の後、ご祝儀としてオペラ「滝の白糸」及びオペラ「椿姫」が披露されるという斬新な演出で始まりました。ピアノ伴奏田島睦子様、滝の白糸アンサンブルゾリステン様、金沢フェスティバル・クワイアヤー様、金沢オペラ合唱団様（本会の綿谷敏彦先生ほか）の皆様にご出演していただき、間近に見るオペラシーンの迫力に圧倒されました。

世話人を代表して、石川県薬剤師会顧問の能村明文先生が挨拶し、衆議院議員馳浩氏、参議院議員藤井基之氏、石川県議会議長米澤賢司氏、金沢市長山野之義氏、石川県健康福祉部長山本陽一氏による各氏のお祝いの言葉を頂戴し、祝電が披露されました。



記念品贈呈では、ご本人の希望によりシャンパンとペアシャンパングラスが送られ、さらにお孫さんからご夫妻に花束がそれぞれに手渡しされました。そしてお礼の言葉が中村会長から述べられました。

乾杯の音頭が石川県議会議員の紐野義昭氏から発せられ、華やかな宴に移りました。祝宴が続く中、祝舞として民謡舞踊朋扇会主宰の戸田悦子様による「喜代節」

及び「津軽あいや節」の舞に会場中が堪能しました。祝賀ムードに包まれたまま、あっという間にお開きの時間になり、会長の大学時代の友人である小高賢一氏が万歳三唱の音頭を取られ、世話人の兼田春生氏がお礼のあいさつを述べられて和やかに会が納まりました。

世話人 能村明文、兼田春生、中森慶滋、
柏原宏暢、橋本昌子、乙田雅章

薬・薬連携について

当院における疑義照会簡素化プロトコルの運用について

石川県済生会金沢病院 森 戸 敏 志

石川県済生会金沢病院では今年1月から、疑義照会簡素化プロトコルの運用を始めました。今回は、運用に至るまでと、運用後半が経過した7月までの状況を報告いたします。

当院では10年ほど前から、原則として外来調剤を院外処方箋とし、年を追うごとに発行率が上昇してきました。現在の発行率は85%弱で、ほぼ全面院外処方と言って良いかと思えます。導入当初は、医師も院外処方箋の記載に不慣れな部分が多く、処方箋を発行する前に病院薬剤師が画面上で記載内容を確認していましたが、発行率も上がり、院外処方箋が浸透した数年前からは、処方箋の発行の際、医師自身が内容を十分に確認した上で直接患者に交付することとし、交付前の病院薬剤師の関与を無くす運用としました。

疑義照会に関しては、導入当初から電話

での対応とし、薬剤部がその窓口となっていました。しかし、診察中や手術中の医師に確認を取ることができず、疑義照会の返答に時間がかかるケースも少なくありませんでした。

その対策として、厚生労働省医政局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を踏まえた上で、平成26年に診療部と薬剤部との間で疑義照会対応に対する院内マニュアルを作成しました。頻度の高い疑義照会（調剤上の変更や診療録から確認可能な記載事項の不備などに関する形式的なもの）に関しては、処方医との事前の合意の上、薬剤部で判断し返答する対応としました。照会内容は薬剤内にデータベースとして残すと共に、診療録にも直接記載を行い、医師が確認できるように配慮しました。この院内マニュアルを整備し、院外の保険薬局にまで枠を広げ

たものが、疑義照会簡素化プロトコルになります。

すでに同様のプロトコルの運用を開始している京都大学医学部附属病院薬剤部の取り組みを参考に、当院の診療状況に沿うような形でプロトコルを作成しました。

この疑義照会簡素化プロトコルを運用する際に、以下の点を踏まえた上で、個々の処方内容変更を取り扱う事としました。

＜処方内容変更に関する原則＞

- ・ 処方箋に変更不可のチェックや記載があり、保険医署名欄に処方医の署名又は記名、押印がある場合は処方薬を変更できない。
- ・ 含量規格変更不可、剤形変更不可等の記載がある場合は、その指示に従う。
- ・ 全ての内容に関し、患者の不利益とならないよう必ず患者の負担額や変更点等について説明を行い、同意を得た場合のみ変更可能とする。説明が無い場合、説明が不十分である場合、患者の同意が得られない場合は合意範囲外とする。

具体的には、一包化の指示や、成分名が同一の銘柄変更、アドヒアランス改善を目的とした規格の変更、処方薬に残薬がある場合の処方日数の調整（短縮あるいは削除）、患者の希望があった場合における湿布薬の変更など全16項目を対象としています。そして、合意を取り交わした保険薬局との疑義照会内容に関して、プロトコルに沿った内容の場合は、問い合わせ不要で保険薬局にて処方箋の内容を変更した上で、事後報告をいただき診療録に反映する事と

し、プロトコル範囲外に関しては、ファックスで問い合わせをいただき、確認後に電話で返答する運用に改めました。

プロトコル導入後、一部の保険薬局に対してアンケートを行ったところ、導入後は、患者の待ち時間が大幅に減少し、加えて剤形変更や規格の変更などを保険薬局薬剤師の判断で積極的に提案できるようになったとの意見をいただきました。より患者の意向に沿った調剤が実践できている事が伺えます。院内においては、疑義照会として対応する件数がおおよそ7割減となり、病院薬剤師の業務負担減につながったと判断できます。

導入して半年が経過した7月現在、保険薬局5店舗及び調剤薬局チェーン1社（全店舗）と、各々合意書を交わしプロトコルを運用しています。運用により、疑義照会に関与する人（患者、保険薬局、病院薬剤部、医師など）の負担が軽減したと思われる反面、ファックス運用に変更した事による対応の遅れや、プロトコル内容の拡大解釈・解釈の相違、院内採用品目変更の周知不足など、改善が必要な点も指摘されています。

今後は、プロトコルを取り交わしている保険薬局と当院薬剤部で意見の集約を行い、より質の高いものにしていくと共に、プロトコルに合意いただける保険薬局を新たに増やしていきたいと考えています。

※新規合意に関するお問い合わせは下記までお願いします。

石川県済生会金沢病院 薬剤部

(直通) 076-266-2930

県民啓発講座を開催して

石川県薬剤師会 三 浦 智 子

平成29年1月29日ANAクラウンプラザホテルで恒例の県民啓発講座「薬を安心してのむために」を開催しました。今回は、シンポジウムと伊奈病院整形外科部長石橋英明先生をお招きしての健康講座です。

総合司会の今庄恵子氏のアナウンスで開会し、「この講座は大事なことなので、毎年同じことを話題にしています。」との三浦の挨拶で始まりました。

第一部のシンポジウムでは、座長を北嶋浩成氏にお願いし、一般市民を代表して笹川真澄氏、病院薬剤師代表の山田千代子氏、開局薬剤師代表の乙田雅章氏のお三方で日常の業務や問題点を述べられ、笹川氏からの疑問やフロアからの質問にも返答していただくという形で進んでいきました。笹川氏は二度目のシンポジウム参加である

のと、ベテラン薬剤師の両先生に安心してお任せできましたので、大変盛り上がった会になったと思いました。

第二部の石橋英明先生はNHKの「今日の健康」や民放テレビの健康番組によく出演されていて、ご講演は興味深い内容でした。また、どの講演でも歌をうたわれており、ご自慢なのだと思いました。「ひざの痛みと骨の弱さの予防の秘訣」と題し運動器の健康の重要性、骨と筋肉のための栄養、ロコモトレニングの必要性を語られ、ロコモが進行すると要介護のリスクが高くなると言われました。

石橋先生の話をお聞きながら、歌いながら体を動かすのは楽しくて本当にいい会になったと嬉しく思いました。

県民啓発講座 シンポジウムに参加して

「お薬に関するもやもやが解決！」

金沢・健康を守る市民の会 笹 川 真 澄



笹川真澄氏

雪のない穏やかな1月の最後の日曜日、薬剤師会の県民啓発講座の第一部のシンポジストとして参加させていただき

ました。会場には健康に関心が高い方々が100人を超えて集まっておられました。司会の今庄先生の発声で会場内が柔らかな居心地の良い空間になりスタートしました。

私自身は普段薬と縁がありませんが、周りにはお世話になっている方が多く、その

方々の代弁で8つのことについておうかがいしました。私の理解の範囲で薬剤師さんからの答えも書かせていただきます。

Q：両親は、毎回薬局の方から「余った薬はありませんか」と聞かれるとのこと。認知症を疑われているのではとの思いから、あっても「ない」と答えています。どうということでしょうか。

A：もちろん、きちんと飲むことができているかの確認であるが、飲み残しの薬をお伝えし持参することで、医療費の節約につながる。また、薬が効いていないのではと主治医が勘違いし薬の量を増やすなどの間違いを防ぐ効果もある。ぜひ、きちんと教えてほしい。

Q：実家にいたときに薬剤師さんが「薬局です」と家に来られました。どうということでしょうか。

A：自宅で療養中の方や通院や調剤を待つことがむずかしい方々のために、希望される方には医療保険や介護保険を利用してご自宅に薬を届けるシステムがある。

Q：心筋梗塞を起こした方が後に飲む薬は高く、ジェネリック医薬品はないのでしょうか。

A：通常10年を経ないとジェネリック医薬品はできないので発売されていないこともある。最近できるようになった薬もある。

Q：コレステロールのことが昨年も話題になりましたが、飲むリスク、飲まないリスクを教えてください。また、中年

で太っている男性と閉経後の女性が飲む薬は同じなのでしょうか。

A：女性は生理がある間は守られているが、閉経後は女性ホルモンの減少によりLDLコレステロール値が高くなり動脈硬化のリスクが高まる。検査値だけで医者は判断しているわけではない。家族歴、ほかの病気があるかどうかで治療目標値は異なる。薬の男女の差は基本ない。

Q：ときどき膝が痛い。将来どういう方法があるか知っておきたいのですが。

A：予防としては、食事、運動がおすすめである。痛いときの対症療法として痛み止め、塗り薬、内服薬などがある。

Q：サプリメントを飲んでいる方もいますが、薬剤師さんに相談といわれますが、どのようにお答えされていますか。

A：その方が何を望んでいるかお聞きすること、現在服用している薬はないか、飲み合わせは大丈夫かを考える。情報に惑わされて飲みすぎにならないように、過度に期待させないようにもしている。

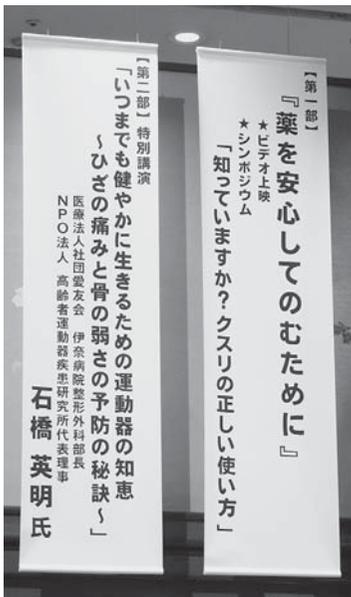
Q：お薬は今、どの分野の薬が目覚ましい進歩をしていますか。

A：糖尿病の薬。今までは低血糖にならないように十分に注意する必要があったが、低血糖を起こさない薬は画期的。肝炎に関する薬。今はほぼ完治するようになった。がんに関する薬も進歩している。

Q：老化を遅らせる薬はありますか。

A：見た目も大事だが、血管年齢を若々しく保つことも重要。そのために血圧、糖尿病、コレステロールの薬を正しく飲むことがそれにつながると思う。そんな薬があれば私も欲しい。残念ながらない。あるとすれば、毎日楽しく暮らしてよく笑うこと！（笑）

会場からも笑いが起き、みな納得されたようでした。会場からは、糖尿病の友人がしている注射をその薬に変えられるか、薬価のこと、薬を飲む際のコップ1杯は具体的にはどのくらいの量かの質問がありました。



た。なぜコップ1杯かという、その目的が食道に張り付いて炎症を起こさないように胃まで薬を届かせることが大事だろうか、なるほ

どと納得できました。飲み込めたらそれでよいと思っていました。

いろいろな方々の質問をうかがうことでさらにいろ

いろと気づかせていただきました。

美しい笑顔で会場の方々に話しかけるようにお話しされていた山田先生、「楽しくやりましょう」との乙田先生のお言葉で私はリラックスして臨むことができました。北嶋先生は座長として空気を読みながら皆さんの理解がより深まるように問いかけされたり言葉を添えられたり、とてもよい雰囲気でした。

第二部の石橋英明先生の歌声に魅了されうっとりしてしまいましたら、なんと先生のご著書が抽選あたり、何とも幸先の良い今年のスタートができました。

最後に、ひざ痛も克服され、ますますお元気な三浦先生にまたお会いできましたこと、本当にうれしく思いました。薬剤師会のみなさま、ありがとうございます。



石橋英明先生

しっかり服薬推進事業について

しっかり服薬委員会報告 佐倉有紀

「しっかり服薬推進事業」は、一人暮らしや老々介護家庭の高齢者、また医療機関

を退院後に居宅療養している患者等の服薬には「薬剤の保管が悪い、薬剤の飲み忘れ

や服用薬剤の理解不足など」の課題が多い為、身近なかかりつけ薬局が在宅患者等に、「飲み忘れしないこと、正しく飲むための工夫ができることなど」を十分に指導する目的で2013年より始められました。

各年度において、しっかり服薬推進委員会を開催し、在宅医療への参加を促進する為の事業計画等を検討し、実行に移してきました。内容はしっかり服薬支援・ヘルパー向けリーフレットを使用して、ヘルパーや地域のかかりつけ薬局を対象とした「しっかり服薬研修会」を開催し、服薬指導者のスキルアップを図りました。

このときに使用した「引き継ぎチェックシート」は、患者様の服用薬の残薬を減らし、病気の回復をより効果的に支える為、患者様、在宅介護事業者と薬局をつなぐツールです。ヘルパーが把握した残薬状況について、ヘルパー間でまたは薬局が内容確認して結果を患者や医療機関へ知らせることで適正な服薬につなげる目的でした。さらに残薬調査も行いました。

(1)「しっかり服薬研修会」の開催

平成26年11月6日に石川県青少年総合研修センターで、ホームヘルパー・介護士を対象とした課題「薬のお困りごとを解決しましょう」についてグループワークと研修会を開催しました。

☆グループワーク（10:00～13:00）

参加者：介護職6名、介護支援専門員1名、薬剤師20名

☆研修会（14:00～16:00）

参加者：介護職5名

ここで浮かび上がった問題点は、

- ①残薬トラブル ②多科受診 ③剤型のトラブル ④患者さんの認知機能低下や体力低下（フレイル） ⑤患者さんの急激なやせ（サルコペニア） ⑥薬剤師とヘルパーさんの連携不足等でした。

服薬を支援するためのチェックシートはホームヘルパー協議会と石川県薬剤師会の全会員薬局に配付しました。

(2) 残薬調査結果

また残薬調査の結果は、平成28年4月より12月までを下記の表に示した通りです。

4月～12月までの報告は518件、疑義照会で残薬を利用できた金額は、1,487,135円でした。残薬を利用できていることはわかりましたが、しっかり服薬される為の取組みにつなげることができたかどうかの調査は今後の課題だと思われます。

残薬調査結果		
平成28年 (月)	件 数	金 額 (円)
4 月	28	76844.8
5 月	76	253333.4
6 月	30	64457.3
7 月	78	232622.6
8 月	64	168896.1
9 月	38	56976.25
10 月	64	180364.5
11 月	71	209182.17
12 月	69	244458.21
計	518	1487135.33

ホームページを有効活用しませんか

石川県薬剤師会理事 山 崎 敏 誉

石川県薬剤師会では、ホームページを通して県民の皆様、会員の皆様への情報提供を行っております。また、長年にわたり委員会などで様々なマニュアルやツールを開発し会員の皆様に紹介してきました。多くは冊子の形でお配りしており、その一部は石川県薬剤師会ホームページ上にて公開しております。しかしながらホームページ上のどこにどのような情報が掲載されているかわかりにくい面もあります。今一度整理し、掲載箇所と使い方について紹介させていただきます。皆様の業務の中で活用していただければ幸いです。

石川県薬剤師会ホームページ：

<http://www.ishikawakenyaku.com/index.html>

会員用 I D / パスワード：本誌「県薬レポート」の裏表紙に記載しています。

※保険委員会ページ

掲載場所：トップページ上段の「保健委員会 会員用」をクリック

保険行政・他の通知、基幹病院の採用薬に関する情報、保険調剤等に必要となる掲示・用紙類・申請書・手順書のひな形などについて紹介しております。

※石川県薬剤師会作成パンフレット

掲載場所：トップページ上段の「会員向

け情報」内

これまで作成した主なパンフレットについてPDFにて掲載しております。印刷して利用できます。

※マニュアル類

- ・聴覚障害者の対応マニュアル

(2007年作成)

掲載場所：トップページ左下「聴覚障害者の対応マニュアルについて」をクリック

マニュアル本体及び服薬指導支援のための補助ツール類について掲載してあります。

ツール類は、紙へ印刷、PC・タブレットへ表示させて利用できます。

- ・外国語対応のためのツール集

(2012年度作成)

掲載場所：トップページ左下「外国語対応のためのツール集」をクリック

掲載外国語：英語、韓国語、中国語（北京語）、ポルトガル語

マニュアル本体及び服薬指導などの際の支援ツール類を掲載しております。

ツール類は、紙へ印刷、PC・タブレットへ表示させて利用できます。

- ・石川県薬剤師会 災害対策マニュアル

掲載場所：トップページ上部「薬剤師災

害支援活動推進事業」

マニュアル本体及び災害拠点病院・薬局マップ、被災状況報告書の様式を掲載しております。

※被災状況報告書について

被災した際の自店の状況についてスタッフの安否・営業の可否など班長・支部町経由で報告していただくための様式です。災害用の各班の連絡網とともに、紙で保管しておくことをお勧めします。

※医療機関との連携（薬業連携）について

掲載場所：トップページ左「薬業連携事業」をクリック

ここでは医療機関（薬剤部など）との情報共有を目的とした、トレーニングレポート用紙及び活用事例について掲載しております。

※吸入指導連携システム

掲載場所：トップページ左下「吸入指導連携システム 各薬剤の吸入手順」をクリック

石川県立中央病院、金沢大学附属病院の該当ホームページとリンクしております。

各吸入剤の指導せん、医療機関への報告書などがダウンロードできます。

第2回石川県スポーツ ファーマシスト連絡会

石川県薬剤師会理事 高山成明

第2回スポーツファーマシスト連絡会は、金沢大学薬学系臨床薬物情報学荒井國三教授のご尽力により、右記の講演会を開催いたします。東京オリンピック・パラリンピックが近づき、アンチドーピングに関心が高まる中、会員の皆様もスポーツファーマシストを目指しましょう。この講演会は、私ども石川県のスポーツファーマシストが作る連絡会がおこないますが、連絡会へ未加入の方も、また一般の薬剤師も参加可能です。ぜひご来場ください。

第2回石川県スポーツ ファーマシスト連絡会

日時：平成29年10月1日（日） 午後1時30分から
場所：金沢大学医学類講義棟
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

13:30

特別講演

講演：ハンドボールから学んだもの

講師：北岡克彦先生

石川県体育協会医・科学委員会委員長

14:15

講演：ドーピング ゼロ宣言!!

講師：木村嘉明先生

福井県薬剤師会スポーツファーマシスト委員会委員長

15:00

ミーティング

連絡・問合先：

〒920-1192

金沢市角間町 金沢大学医薬保健研究域薬学系

臨床薬物情報学研究室 荒井國三

Tel:076-264-6224

E-mail:arai@p.kanazawa-u.ac.jp



G08認定薬剤師制度2回目の更新

研修センター長 吉 藤 茂 行

石川県薬剤師会が実施しているG08認定薬剤師研修制度は、第三者評価機関である薬剤師認定制度認証機構CPCの最初の認証を受けて9年が経過しようとしています。2回目の更新時期です。

生涯学習に励む県内薬剤師の熱意に応え、本会が提供する研修会等の質の保証を得るため、CPCの認証を取得したのは、平成20年6月18日であった。薬剤師の生涯学習支援事業に認証制度があるなら、「トライしてみよう!」と、当時の徳久和夫会長の言葉であった。

当時の本会の研修会では、いわゆる3か月シリーズ研修会の「グレードアップ講座」～「スキルアップ講座」が毎月実施され、時には200名近い受講者を集めて活況

を呈していたし、6年制薬学の薬局実務実習の開始直前で、指導者養成が急務であり、本会の実習研修「薬局実務研修講座」(10時間の実技講座、最終的に256名が修了)には多くの薬剤師が参加し、認定実務実習指導薬剤師の資格を得ていた。このように本会には、集合研修・実習研修に大きな柱があったし、石川県は日本薬剤師研修センターの認定薬剤師の取得率では全国第1位を維持していたので、認証取得には自信があった。当時のCPC理事長の内山充先生から、研修事業の自立性・公益性を強調した申請内容にするようにとの助言をもらって、申請書を作成した思い出があります。

認証取得後の平成20年8月には、石川県



最近の研修手帳とシール

薬剤師研修センターを立ち上げ、本会の主要事業の1つになった。本会・支部（金沢市薬剤師会及び小松能美薬剤師会を含む）の研修会や公的団体等が開催する研修会の内容を検討し、G08研修シール（単位）を交付することと、認定薬剤師申請者（新規・更新）の研修手帳をチェックして認定し、認定証を交付することが主な仕事であるが、認証取得の3年後の1回目の更新（平成23年6月）に合格してから後は、これらの仕事は通常業務なみにルーチン化して、センター長（G08制度委員長）の役割となっています。

またセンター設置後に新しくホームページ「石川県薬剤師研修センター」を開設し、G08制度の公開、各種研修会の開催情報や薬学生薬局実務実習の情報提供に特化したものとしています。

さて、本制度の9年目の更新についてであるが、前回の更新後の6年間の事業をまとめ、今後の制度の方向性を明確にした申請書を書かなければならず、今頃になって古いデータに不備が見つかって若干苦労した。自己評価を含め、要求された44項目について記述した。CPC認定制度委員からは、年間200件以上の研修会のマネジメント（公益性の判断とG08研修シールの交付）や日薬JPALSへの登録など研修会情報の積極的な提供、一方でG08認定薬剤師数の着実な増加、特に石川県ではG08認定薬剤師数が日本薬剤師研修センターG01認定薬剤師数を上回ってきていることなど、G08制度が発展し続けていることが評価さ



れた。また、本会が平成25年に公益社団法人になったことも印象をよくしていると思われた。先日、認証された研修プロバイダー27団体が集うCPC社員総会の折に、本会の更新申請が合格したことをCPC理事長から知らされた。申請作業が終わり、ホッとしています。

卒後教育も十分できる大学などのプロバイダーと異なり、研修資源（広い学問領域と講師陣）をほとんど持たない本会のこれからの課題は、いかに良質の研修会等を薬剤師に提供できるかである。薬剤師生涯学習に今何が必要なのかも自問し、模索してゆかなければなりません。

現在、県外の認定者を含め、G08認定薬剤師数は550名を超えています。これらの皆様が今後も本会の認定薬剤師であり続けるために、私たちには大きな責任があります。これからもG08制度の維持とさらなる発展に努力する所存です。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

大野名水ハーフマラソン

石川県薬剤師会 中 森 慶 滋

今から約三年前。血圧の状態が高く振れるようになったことに気が付いた。HbA1cの値も以前計ったものより悪くなっている。そこでスポーツジムのV10に行くことにした。それから週に一度は行き筋トレをして約1時間強で10kmを走った。今年のお正月に集った親戚の新年会の時、女の子が「加賀温泉郷マラソン」のフルマラソンに出るといふ。うまく彼女に乘せられてしまった僕は10km部門を走ることにした。その結果1時間1分28秒(353位/779人)だった。翌日、僕はハーフマラソンにエントリーすることにした。ハーフマラソンを走った時の様子を僕のブログから紹介しようと思う。

大野市は天正3年(1575年)、織田信長より一向一揆討伐の命を受けて、金森長近が美濃から大野に進攻。一揆平定したのち長近は大野盆地が見渡せる亀山に大野城を、その東麓に城下町を造ったのが始まりとされている。以後今日まで、大野市は奥越地方の中心地として栄え小高い丘にそびえる天守閣と短冊状に区切られた町並み、中世から近世にかけて築かれた寺院が叢を連ねる寺町通り、城下町誕生のころから続くとされる七間朝市など、400年を超える歴史を彷彿とさせる景観を今も色濃く残している。ところどころに市内には湧水が沸き、水飲み場では冷たい水を飲むことができる。

7時ごろ大野市に着いた僕は今年で53回

を迎えるという大野名水マラソンに出場するため駐車場に着替えを始めた。

先月の加賀温泉郷マラソンでは10kmだったことでもあり簡単に考えていて普段ランニングで着ているランニングシャツとニュー・バランスのシューズをはいた程度であったのだが、今回は陽射し対策に白いキャップ、それをしまっておくウエストポーチ、さらに両足には膝の痛みをガードするサポーター、腕にはGPS時計を装着した。駐車場から会場までランナーたちの列ができていながらとぼとぼと歩いていく。なんだか雰囲気が違うことに気がつく。加賀温泉郷マラソンの時とは違い身のこなし方から体形、装備の装着のスキが無いのである。つまりみな本格的なランナーとしての風格を備えているのだ。

選手登録をしてゼッケンをシャツに取り付ける。加賀温泉郷マラソンでは緊張は全くしなかったのであるがハーフとはいえ未知の世界を走ること若干の不安を感じているのだろうか、トイレに何度も行った。おにぎりを食べバナナをほおばった。

若い人たちの集団は9時ちょうどに出発するが、我々シニアと女子は9時10分の出発だ。整列場所に移動する。集まっている人たちはシニアとはいえ体格から表情、スタイルGPS時計などを装備しているのを見て僕はビビってしまった。僕のようなぽっと出のやわなランナーはどこにも見当たらない。心を切り替えてマイペースでい

こうと思う。

号砲が鳴りレースはスタートした。想定通りに僕はどんどん抜かされていく。どこまで行ってもぬかされ続け僕が抜く人はほとんどいない。iPodではクラブのトランス系をガンガンかけている。そこからエネルギーを抽出しつづけ序盤は走った。大野の街並みの中から農村地帯へと入っていくその間、村の近所の人たちなのであろうみな優しく頑張れと言ってくれているのが分かる。

7kmを過ぎたあたりから陽が出てきたので帽子をかぶることにする。顔を隠すことで表情は沿道の人たちから見えていないと思う。今からこれまでの2倍を走らなければいけないのかと思うと肉体と精神とのバランスをとる必要があると思った。苦しみの感情を開放するのだ。そして僕は思いっきり声を出さずに泣いた。泣いた顔をタオルでぬぐい何もなかったように走った。10kmまでは普段走っている距離だと思い淡々と距離をこなしていく。折り返し地点にたどり着いた。それまでは自分よりも早い人たちとすれ違っていたのだが、これからは遅い人とすれ違いながら走るようになる。精神的に楽になるかなと思っていたらあまりそういうことは関係がなかった。相変わらず僕の中に苦しみは苦しみとして存在していた。

そうして僕は未知の世界の距離へと踏み込んでいった。いろんなことが頭に浮かびだす。子供時代のころ将来のこと、仕事のこと薬剤師会のこと、家族のこと、宇宙のこと。そして分かったのだ、自分は今他のランナーと競争しているのではなく自分自

身と戦っているのだと。抜かそうが抜かされようがそういうことはどうでもいいことだ。

沿道の声援が心にしみる。53年間応援しているのであろうか農家のおばあちゃんががんばれーという。声援を送ってくれた一人一人に頭を軽く下げる。うちわをもった小学生の女の子は走っている僕に対して一生懸命扇いでくれた。道端のプランターは我々ランナーのために飾り立ててあったことを後で知る。花を見ながら走ると心が和む。途中バナナを食べポカリスエットを何杯か飲んだ。みんなとても優しくかった。僕のようなレベルのランナーにとって沿道の人たちは天使のように光り輝いていた。

さきほど僕を抜いていった黒いランニングシャツを着た女の子がぼくの前に再び現れてきた。僕は同じペースで淡々と走っていたのでそのまま彼女をぬかそうとした。すると彼女は僕のようなシニアに抜かされたくないと思ったのだろうか、再び速度を上げ一気に走っていった。20分ほどたったとき再び彼女がぼくの前に迫ってきた。僕は彼女を抜いた。今度は彼女は僕を追ってくることはなかった。

歩こうと思えばいつだってそうすることはできたのだが、いったん歩いたら僕は走らずと歩き続けるのではと思い一度も歩かなかった。給水所で立ち止まってポカリスエットを飲んでいる人たちが後半に入ると多くいたものの、立ち止まると足が前に出なくなるのではないかという恐怖があったので走りながらコップを受け取った。

僕を抜き去っては時々歩き出す若い男性、僕を抜いたあと立ち止まり歩いている

のを僕が抜かしていく。その後男性は再び走り出し僕をぬかしていく。しかしまたゆっくりと歩いているのを僕がぬかしていく。結局マイペースで走っていた僕は彼よりも早くゴールをした。

ゴールのゲートが見えてきた。ランナーを待ち受けている応援集団の前を走っていく。誰かが「おかえりなさい」といったのが聞こえた。その瞬間僕は再び泣き出してしまった。沿道の人に見えないようにタオルで涙をふいた。

結果は惨敗の2時間29分15秒。2時間20分を目標としていたので、若干落ち込む。まあせいぜいこんなものかなと思う。完走できたことを喜ぶべきだと家内は言った。今後おそらく加齢もありこの記録を上回ることはないかもしれない、しかしスポーツジムで足の筋肉を鍛えたいと思った。ひよっとしたら早くなるかもしれない可能性に賭けようと考えたのだ。10kmマラソンの時とは違い右ひざの痛みと体の疲れが大きい。

レースの翌日の月曜日、以前読んだことがある村上春樹の「走ることに、語ることに、僕の語ることに」を再読した。彼は毎日10kmを走り、年に一回はフルマラソンを走るという。

--*-*-*

もし僕の墓碑銘なんてものがあるとしたら〔少なくとも最後まで歩かなかった〕と刻んでもらいたい。

「走ることに、語ることに、

僕の語ることに」 村上春樹 著

--*-*-*

Pain is inevitable, Suffering is optional.

それが彼のマントラだった。正確なニュアンスは日本語に訳しにくいのだが、あえてごく簡単に訳せば、「痛みは避けがたいが、苦しみはオプション（こちら次第）」ということになる。

たとえば走っていて「ああ、きつい、もう駄目だ」と思ったとして、「きつい」というのは避けようのない事実だが、「もう駄目」かどうかはあくまで本人の裁量に委ねられていることである。この言葉は、マラソンという競技のいちばん大事な部分を簡潔に要約していると思う。

「走ることに、語ることに、

僕の語ることに」 村上春樹 著

--*-*-*

人間というのは、好きなことは自然に続けられるし、好きでないことは続けられないようにできている。そこには意志みたいなものも、少くくは関係しているだろう。しかしどんなに意志が強い人でも、どんなに負けず嫌いな人でも、意に染まらないことを長く続けることはできない。またたとえできたとしても、かえって身体に良くないはずだ。

だから僕はランニングをまわりの誰かに勧めたことは一度もない。「走るのは素晴らしいことだから、みんなで走りましょう」みたいなことは、極力口にするまいと

思っている。もし長い距離を走ることに関心があれば、放っておいても、人はいつか自分から走り出すだろうし、興味がなければ、どれだけ熱心に勧めたところで無駄だ。マラソンは万人に向けたスポーツではない。小説家が万人に向けた職業ではないのと同じように。僕は誰かに勧められたり、求められたりして小説家になったわけではない（止められこそすれ）。思うところあって勝手に小説家になった。それと同じように、人は誰かに勧められてランナーにはならない。人は基本的には、なるべくしてランナーになるのだ。

「走ることに、語るときに、

僕の語ること」 村上春樹 著

--*-*-*

無理をして走り続けるよりは、ある程度歩いた方が賢明だったのかもしれない。多くのランナーはそうしていた。歩きながら脚を休める。でも僕は一度も歩かなかった。ストレッチのための休憩はこまめにとった。しかし歩かない。僕はなにも歩くためにこのレースに参加したんじゃない。走るために参加したのだ。そのために――そのためだけに――飛行機に乗ってわざわざ日本の北端にまでやってきたのだ。どんなに走るスピードが落ちたとしても、歩くわけにはいかない。それがルールだ。もし自分で決めたルールを一度でも破ったら、この先更にたくさんのルールを破ることになるだろうし、そうなったら、このレースを完走することはおそらくむずかしくなる。

「走ることに、語るときに、

僕の語ること」 村上春樹 著

--*-*-*

フルマラソンを走っていると最後のころには一刻も早くゴールインして、とにかくこのレースを走り終えてしまいたいという気持ちで頭がいっぱいになる。ほかのことは何も考えられなくなる。でもそのときには、そんなことはちりとも思わなかった。終わりというのは、ただとりあえずの区切りがつくだけのことで、実際にはたいした意味はないんだという気がした。生きることと同じだ。終わりがあるから存在に意味があるのではない。存在というものの意味を便宜的に際立たせるために、あるいはまたその有限性の遠回しな比喩として、どこかの地点にとりあえずの終わりが設定されているだけなんだ、そういう気がした。かなり哲学的だ。でもそのときにはそれが哲学的だなんてちりとも思わなかった。言葉ではなく、ただ身体を通した実感として、いわば包括的にそう感じただけだ。

「走ることに、語るときに、

僕の語ること」 村上春樹 著

--*-*-*



走り終えて。

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター

**守りたい
大切な子どもたち**

**学校での事故は
年間100万件以上発生しています！
知って、防ごう、学校事故**

事事故例や学校安全啓発資料はコチラ！

 **学校安全Web**

QRコードからも
アクセス可能です


独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部
URL:<http://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

原稿を募集しています。

- ◇「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものにしたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。
- ◇テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或はマンガ、イラスト、カット、写真等々何んでも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。
- ◇用紙や宛先等は下記のとおりです。
用紙：400字詰原稿用紙又はハガキ
メ切：特に設けていませんいつでもどうぞ
宛先：金沢市広岡町イ25-10
公益社団法人石川県薬剤師会内

その他：採否は編集係におまかせください。なお、いただいた原稿はお返しできませんのでご了承ください。

「県薬レポート」編集委員会
委員：中森 慶滋、三浦 智子、西上 潤
橋本 昌子、山崎 敏誉、吉藤 茂行
石川県薬剤師会ホームページのURL
<http://www.ishikawakenyaku.com/>
会員専用パスワード
ID:ipa01 password:ipa01(いずれも半角入力)
eメール・アドレス
kenyaku@plaza-woo.jp